

2016年(平成28年)

2月10日

Elderly Press Newspaper
エルダリープレス ニュースペーパー

(毎週水曜日発行)

第385号

週刊 高齢者住宅新聞

新しい住まいの形

コムニティづくり

~日本版CCRCを考える~



(株)コミュニティネット
高橋 英與
(たかはし・ひよ)

1948年岩手県花巻市生まれ。設計事務所勤務を経て、(株)連空間設計を設立、代表取締役就任。コーポラティブハウスづくりを手がける。1987年、株式会社生活科学研究所(現社名:株式会社生活科学運営)を設立し、高齢者住宅や有料老人ホームづくりに携わる。2005年、生活科学運営の経営を若手に移行。2006年、株式会社コミュニティネット代表取締役就任。自立型高齢者向け住宅「ゆいま～るシリーズ」を展開し、団地再生・過疎地再生、福祉のまちづくりをテーマとしたコミュニティづくりを進めている。著書に『街の中の小さな共同体』(中央法規)、『コミュニティ革命～地域プロデューサーが日本を変える』(彩流社)を8月下旬上梓他。

第7回 地方づくりに必要な人材とは

挫折しやすい、プライドがない、腰が軽い…そういう人に皆さんはどうなイメージを抱くでしょうか。あまりポジティブなものではないと思います。しかし、

こういったタイプこそ、今回のテーマである「地域プロ

だけではありません。一人

挫折しやすい、「デューサー」に必要な資質といえます。

私たちの国は、超高齢化、経済成長の鈍化、膨大な借金を前ににっちもさっちもいかない状況にあります。多くの地方が疲弊している

だけではありません。一人

弱さを見せて世の中を変える

勝ちのよう見える東京こそ少子化の最たる地域であり、このままでは高齢者が圧倒的多数を占める都市になってしまいます。

地域プロデューサーとは、全国各地の困難な課題を抱えたまちに住み込んで、コミュニティを立て直し、持続可能な社会にいたる道筋をつける人のこと。

難しい仕事です。どんなに頑張っても大抵失敗する。挫折の連續です。

その時、自分は〇〇ができるから助けてくださいと周囲に言える人かどうかが、地域プロデューサーに相応しいかどうかの目安になります。特に中高年の男性の場合、障害になるのがプライド。それまでのキャラにござるあまり、世の中のニーズよりも、自分

勝ちのよう見える東京のなかの正しさを優先してしまいます。そうすると不思議なもので、自分が弱点を見せるあなたに手を差し出し、寄り添ってくれるようになります。

地域で動く時には見切り發車も必要です。よそ者のあなたがどんなに知恵を絞っても、現実はあなたの想像力を超えていく。

だからフットワークよろしく、動きながら考えてみる。腰が軽いことが大切だと言いう所以です。

歴史を振り返れば、英雄や独裁者など強い人間が世界にござるあまり、世の中を変えてきました。し

介護 B・I・Z

かく、これからの時代は、従来の社会で少数派だった高齢者や女性、なおかつ自分の弱さを自覚し、それをさりげ出せる地域プロデューサーが中心となり、日本を変えていくのではないかでしょうか。

コミュニティネットが会員企業として名を連ねる一般社団法人コミュニティネットワーク協会は、毎年地域プロデューサー養成講座を開催。今年の3月にはそれに先立つアフレオラムを予定しています。徳島県の中山間地で葉っぱビジネスを成功に導いた「いろどり」の横石社長が講演し、その後は私と地方創生をテーマに対談をします。

本講座で語られる内容は日本未来にとっての重要なテーマとなることでしょう。